

会議名	窓口事務等における証明発行等業務委託事業候補者選考委員会 第2回事業候補者選考委員会
開催日時	令和7年12月19日（金曜日）午前9時から午前10時まで
開催場所	港区役所9階914会議室
委員	弁護士 水町雅子（委員長） 芝地区総合支所長 横尾恵理子（副委員長） 東京都行政書士会港支部支部長 三木隆（委員） 一財）港区国際交流協会事務局長 今井高樹（委員） 麻布地区総合支所長 太田貴二（委員）
事務局	芝地区総合支所区民課
会議次第	1 開会 2 議題 （1）第1回選考委員会議事録について （2）第一次選考結果について （3）第二次選考について 3 今後のスケジュールについて 4 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 第1回選考委員会会議議事録（案） ・資料2 第一次審査結果（案） ・資料2-2 各委員の第一次審査採点表（ご本人分のみ） ・資料3 第3回選考委員会進行スケジュール（案） ・資料3-2 第二次審査の実施に関する留意事項（案） ・資料3-3 第二次審査採点表（案） ・参考資料 募集要項・仕様書・選考方針 一式

会議の内容	
	<p>【1 開会】 ～詳細省略～</p> <p>【2（1）第1回選考委員会議事録について】 (事務局より資料1について説明)</p>
委員長	<p>第1回の議事録の内容について意見、質問はあるか (委員一同異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、資料1のとおり議事録は確定とする。 ⇒<u>第1回選考委員会の議事録は提案どおりで確定</u></p>
	<p>【2（2）第一次選考結果について】 (事務局より資料2、資料2-2について説明)</p>
委員長	<p>今回、応募はA事業者1者であったが、この選考委員会ではこの1者が二次審査に進めるかどうかを議論したい。</p>
事務局	<p>事務局採点部分について、項番1「基本事項の評価」及び項番3「見積額の評価」については事務局が客観的視点により採点している。 項番1については、専門技術力、専任性、実施体制の的確性について既定の基準により採点している。 項番3については、参考事業規模に対する見積額の割合を算出し既定の基準により採点している。</p>
委員長	<p>各委員の評価理由は何か。</p>
委員A	<p>A事業者の評価を高くした点については、港区の特徴を理解し、業務の工夫があると感じた点や、有事を想定した具体的な提案がある点、郵送請求のキャッシュレス化についても言及した点が挙げられる。 ただし、混雑緩和に関する提案は区が示した方策にとどまっている印象であり、よりDXを活用した案があればよかったと思う。多言語対応についても、区で導入済みの既存のツールを活用した提案があるとよかったと感じた。</p>

会議の内容	
委員B	<p>A事業者は業務理解が十分な印象であり、個人情報の保護も具体的な取り組みがまとめられている点からも全体的に安心できると感じた。</p> <p>一方、業務提供の水準や、案内・混雑緩和の工夫に関する提案が標準的な記載にとどまっている印象である。ただ、全体的には一定のレベル以上であると評価した。</p>
委員C	<p>全体のうち6項目で最高点を付けている。A事業者は提案内容に具体的なケースを想定した記載があり好印象だった。</p> <p>一方、3(3)案内業務については評価で2点を付けたが、これは外国語対応のうち中国語について具体的にどうするのかという記載がなかったためである。</p>
委員D	<p>評価に当たっては人の配置に着目した。</p> <p>A事業者は責任者が明確に示されており、指揮命令もしっかりしている。人材育成など従業員を大事にしている印象である。</p> <p>ただし、業務の中身についてはもう少し詳細に書いてほしかった。例えば、要配慮者への接遇については記述があった方がよかった。</p> <p>提案書自体はしっかりできているという評価である。</p>
委員E	<p>全般的な評価は各委員の意見と同じである。</p> <p>A事業者は基本的に安心感があり、港区の実状を踏まえている印象である。</p> <p>一方、業務の具体的な課題への理解・対応案が物足りないと感じた。</p> <p>全般的・網羅的な印象である。</p>
委員長	<p>各委員からの講評をふまえると、委員ごとの採点の差については、それぞれの配点スタンスによるところが大きいと思う。</p> <p>配点がばらけることは悪いことではなく、多様な評価があった方がよいと考えるが、差が大きい項目についてはどのような意図でその採点をしたのかを説明してほしい。</p>
委員長	<p>まず、項番2項目1(3)「区との連絡体制、従事者との連絡体制、情報伝達方法」について委員Cが5点を付けた理由について説明してほしい。</p>

会議の内容	
委員C	区との連絡体制を明確に記載しており、的確な水準であると評価しているため5点を付けた。
委員長	承知した。十分な記載があり、基準をクリアしていると考えるので採点は納得できる。
委員A	各委員の講評を踏まえ、自分のA事業者の採点を修正したい。 項番2項目3(3)「案内業務の体制」については、一定の提案になっているが具体性に欠けるため、4点を3点に変更したい。 また、項番2項目4(3)「従事者の安全衛生管理」については、必要事項は網羅しているが、具体的ではないため5点を4点に変更したい。
委員長	点数変更について承知した。同じく項番2項目3(3)「案内業務の体制」については、委員Cは2点を付けているが、その理由はなにか。
委員C	多言語対応については自身の知見をもとに厳格に採点した。仕様書に記載のある中国語対応について具体記載がなく評価を下げている。
委員長	承知した。 次に委員Eが項番2項目3(4)「緊急時の対応、苦情対応及び接遇」について2点を付けている理由はなにか。
委員E	第一回の選考委員会で重要ポイントとしていたので、もう少し提案が欲しいと考えたためこの点数としている。ただし、内容が平均よりも劣っているということではない。
委員長	全体をとおして採点の差はスタンスによるところが大きいと思うが、そのほか修正したい点はあるか。 (委員一同異議なし)
委員長	それでは、第一次選考の採点については委員Aの修正のみで確定とする。 ⇒ <u>第一次選考結果は委員Aの採点を修正し確定</u>
委員長	では、採点結果に基づきA事業者が第一次選考の選考ラインを通過しているかどうかについて事務局から説明願う。

会議の内容	
事務局	<p>修正点を踏まえA事業者の採点結果を示す。</p> <p>委員Ⅰ：95点、委員Ⅱ：112点、委員Ⅲ：131点、委員Ⅳ：129点、委員Ⅴ：126点となっており、委員採点の合計が593点となった。</p> <p>また、事務局採点の点数の合計は180点である。</p> <p>第一次選考のA事業者の総合計は773点であり、第一次選考の満点である1000点に対し選考ラインの6割を超えた得点であるため、点数上は第一次選考を通過可能となっている。</p> <p>これに区内事業者加点、障害者雇用の評価加点、子育てサポート企業の評価加点、女性活躍推進企業の評価がそれぞれ10点ずつ計40点加算され、A事業者の最終的な第一次選考の得点は813点となる。</p>
委員長	<p>A事業者が813点であるため、第一次選考の通過事業者としてよいか。</p> <p>(委員一同異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、A事業者を第一次選考の通過事業者とする。</p> <p>⇒<u>A事業者が第一次選考の通過事業者</u></p> <p>【2(3) 第二次選考について】</p> <p>(事務局より資料3、資料3-2、資料3-3について説明)</p>
委員長	<p>第二次選考のスケジュール、採点基準等について、ご意見、ご質問はあるか。</p> <p>(委員一同発言なし)</p>
委員長	<p>それでは、スケジュール、採点基準、留意事項についてはこれで確定とする。</p> <p>⇒<u>第二次選考のスケジュール、採点基準、留意事項については提案どおりの内容で確定</u></p> <p>【3 今後のスケジュールについて】</p> <p>(事務局より説明)</p>
委員長	<p>その他ご意見、ご質問はあるか。</p> <p>(委員一同発言なし)</p>
委員長	<p>それでは、これで第2回事業候補者選考委員会を閉会する。</p> <p>(閉会)</p>